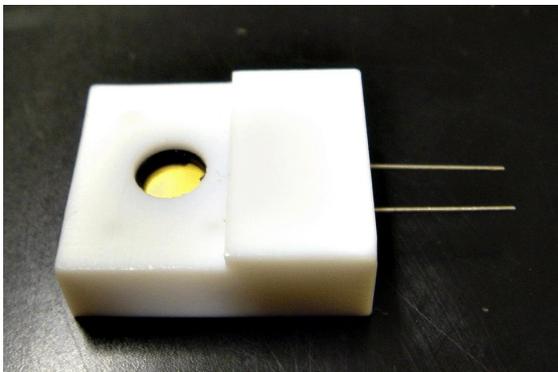
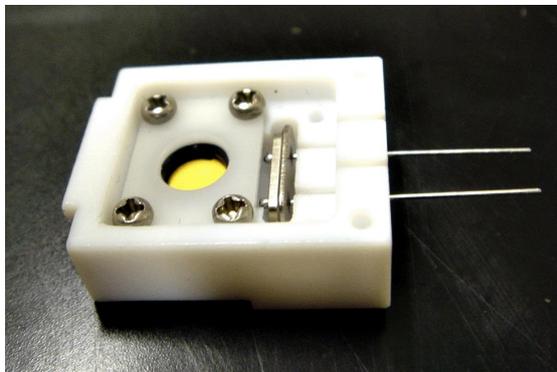


QA-CL3 ディップ型セル



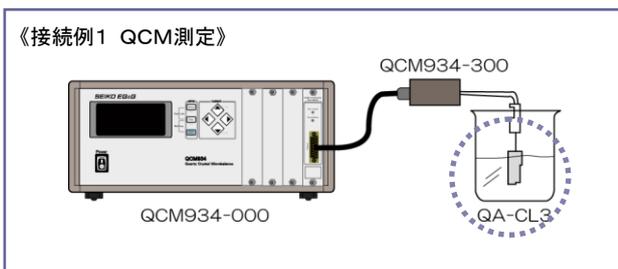
QA-CL3 表面（水晶振動子装着）



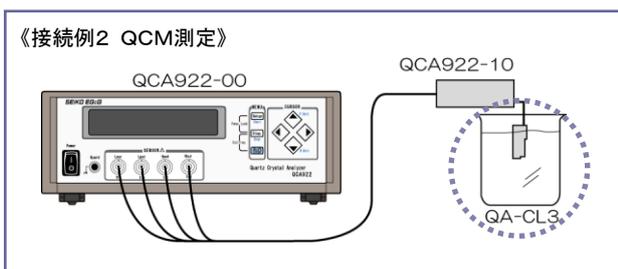
QA-CL3 裏面（裏蓋は外してあります）

QA-CL3 は、弊社製 QCM (QCM934 または QCA922/917) 本体に接続して使用するディップ型セルです。装着された水晶振動子は、セルによって機械的に保持されるとともに、QCM 本体と電気的に接続されます。

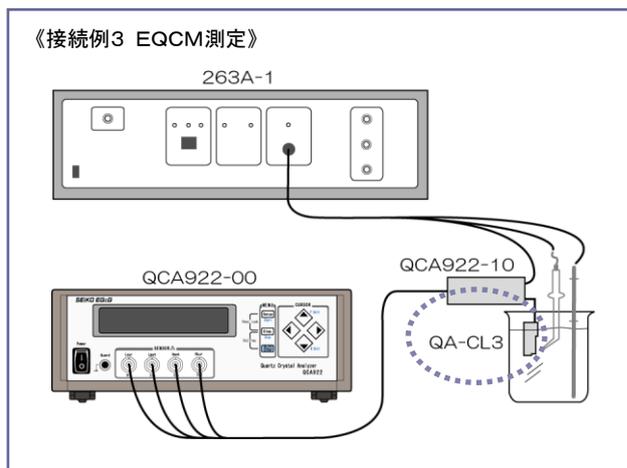
- セルの露出電極部は O-リングにより確実にシールされており、外装も一部を除き完全なシール構造になっているため、その先端部を直接溶液中に浸して使用することができます。
- セル外装部がテフロンのため、酸・アルカリ・有機溶媒に対応しています。（O-リングもパーフロ製に交換することをお奨めします。）
- 水晶振動子を 4 隅のネジで固定するため、水晶振動子を押しやる抵抗が小さくてすみます。（共振抵抗の初期値が小さくなります。）



発振回路ユニット (QCM934-300) を介して QCM934 本体と接続し、QCM測定を行います。



アダプタケーブル (QCA922-10) を介して QCM922 本体と接続し、QCM測定を行います。



接続例2にポテンショスタットを組み合わせると、EQCM測定が行えます。

※ 発振回路ユニット (QCA917-11) を介し、QCA917 本体と接続することも可能です。

仕様

QA-CL3

項目	仕様
適応水晶振動子	9MHz AT カット水晶振動子の使用が可能 (QA-A9M-AU、QA-A9M-PT など)
材質 <small>※下記「耐食表」参照</small>	本体 : テフロン、ポリアセタール Oリング : バイトン パーフロ (オプション、酸・アルカリ・有機溶媒に使用可能) 止めネジ : ステンレス
外形寸法	25.5 (W) × 20 (D) × 12 (H) mm (突起物を除く)
使用環境温度範囲	0°C~40°C 但し結露のないこと
使用方法	試料溶液中に浸すか、または空气中で使用

耐食表

溶媒 \ 材質	PVDF	テフロン	塩化ビニル	ポリプロピレン	バイトン	パーフロ	ステンレス	シリコーン
HCl	○	○	△	○	×	○	○	△
H ₂ SO ₄	○	○	△	△	—	○	○	△
HNO ₃	○	○	—	○	△	○	○	△
NaOH	○	○	—	○	—	○	○	×
アセトン	○	○	△	△	×	○	○	△
エタノール	○	○	○	○	○	○	○	○

○ : 使用可
△ : 限定条件で使用可
× : 使用不可

※ 製品の改良にともない、予告なく記載内容を変更させていただく場合がありますので、ご了承ください。

2009年12月 Rev. 1.7



セイコー・イージーアンドジー株式会社

本社・東京都中央区八丁堀 2-26-9 グランデビル 6F 〒104-0032
電話番号:03-5542-3101(代表) ファクシミリ:03-5542-3109
<http://www.sii.co.jp/segg/>

営業課 中央区八丁堀 2-26-9 グランデビル 6F 〒104-0032
カスタマーサービス 松戸市高塚新田 563 〒270-2222

電話番号:03-5542-3104 ファクシミリ:03-5542-3109
電話番号:047-709-5743 ファクシミリ:047-709-5745